

# 京都

京都市は4月の人事異動から女性職員の幹部登用を広げ、11区役所と市長部局の9局で、最低でも1人以上を課長級以上のポストに起用する。市長部局全体では女性職員の比率は1割弱だが、昨年の新規採用では女性が5割を超えた。市人事課は「女性が活躍する場を増やし、市政に声を生かしていきたい」としている。

市は2010年4月までに、女性の部長級以上職員を

男性の悩みを男性医師が受け付ける「男性専門外来」を新たに設けたり、市政に女性の視点を反映させようと女性職員を幹部に登用したり。京都市は4月から、男性、女性を対象にした新施策をそれぞれ始める。23日から始まった市議会代表質問で明らかになった。

排尿障害や性機能障害など、男性特有の悩みを幅広く受け付ける「男性専門外来」が4月、京都市立病院(中京区)にできる。相談をためらう患者のニーズに応えようと、一般外来とは別に部屋を設け、男性医師が診断にあたる。同病院は、特定の疾患に限定しない男性専門外来の設置は珍しいとしている。

榎本頼兼市長が答弁の中で明らかにした。他の患者の目に触れないよう、部屋は同病院本館4階の健診センターを利用。泌尿器科の男性医師が

## 幹部登用を拡大

## 専門外来できる

# 元気に男女伸びよ

### 20局区に必ず課長級

20局区にそれぞれ配置することを目指している。代表質問で見通しを尋ねられた松井珍男子副市長は「中長期的な視点で、経験や実績を積む機会を設けるなど、実現には計画的な取り組みが重要だ」と答弁。将来の昇進に備えて、4月から女性登用の機会を増やすことを明らかにした。

05年4月時点で、市長部局の課長級以上の職員768人のうち女性は61人。比率は7・9%で、理財、環境、建設の3局と南区役所でゼロだった。部長級以上では、137ある部長級職では10人に、49の局長級職では2人にとどまっている。

### 市立病院、特定疾患に限らず

相談を受け付け、内科や外科、精神神経科とも連携して診察・治療にあたる。医師に口頭で症状を伝えるのをためらう患者もいることから、事前記入の質問票を元に、1人あたり30分程度をかけてきめ細かく診察する。

同病院の担当者は「ニーズに的確に答えるのが役割。悩みがあっても相談しにくい状況を改善したい」と話す。同病院には03年10月、「女性総合外来」が開設されている。

男性専門外来の診察は毎週金曜日の午後2時～4時。予約が必要で、平日午後1時半～4時の専用電話(075・311・6384)を設け、3月1日から受け付ける。

### 京都市 4月から

葬祭センター

**公益社**

本社/扇丸三条 221-4000

www.koekisha-kyoto.com

京都総局 〒604-8101  
中京区御池通堀田町

刻



き揚げてきた。2人は「引